

令和6年9月15日

竜川地区社会福祉協議会

会長 元木 隆

たつかあ

『能登半島地震』は、令和6年1月1日16時10分に、石川県の能登半島地下16km、鳳珠群穴水町の北東42kmの珠洲市内で発生しました。地震の規模はマグニチュード7.6、最大震度7を観測し、地震による死者は、112人の災害関連死を含めて、341人と発表されております。

また、今年8月8日16時43分に日向灘でマグニチュード7.1、最大震度6弱の地震が発生しました。その後、政府は南海トラフ地震防災対策推進地域に対し、地震発生から1週間、日頃からの地震への備えの再確認や、揺れを感じたら直ちに避難できる態勢を取るよう呼び掛けがありました。各地では、予定されていた祭りや花火大会の中止、また各種の行事の規制等が有りましたが、幸い関連する大規模な地震の発生もなく、ホットしておりますが、四国沖を震源とする南海トラフ巨大地震は向こう30年以内に非常に高い確率で発生すると言われております。この機会に、家具の転倒防止策を講じたり、生活水や食料等、備蓄品を確保するなどの対策をお願いします。



外出支援事業で、豊稔池を訪れる!

竜川地区社会福祉協議会では、15地区で年間58回のバスでの外出支援事業を行っておりますが、この度、金蔵寺東部地区の皆さんが、外出支援で観音寺市の豊稔池堰堤を訪れました。



令和6年6月28日訪問

気軽に集える「ふれあい・いきいきサロン」始めてみませんか?



「ふれあい・いきいきサロン」とは、生きがいや仲間づくり、介護予防を目的に、地域に住むお年寄りが歩いて行ける場所に集まって、茶話会や体操など、みんなで一緒に楽しく交流する場です。

現在、私たち竜川地区では、13サロン(グループ)で約180の方が登録され、毎月の活動をされております。興味のある方は、会長の元木 隆(090-8285-5915)まで連絡してください。

令和5年度 竜川地区地域振興協議会 事業報告・決算の概要について

I 事業報告

竜川地区振興協議会では、市からの「環境・コミュニティ事業交付金（資源ゴミ回収により生じるお金）」を資金として、地区内の各種事業に対し、事業の推進と活性化を図るため、助成を行っております。

1 例年実施されている事業への助成

- (1) 市社会福祉協議会の会費及び教育振興会への助成については、例年どおり実施しました。
- (2) 竜川地区自主防災会に対し、防災訓練実施に伴う助成金を拠出しました。
- (3) 青色パトロール隊に対する助成金の交付。
- (4) 公民館まつりへの助成金の交付。
- (5) 幼稚園、保育所、しかしかキッズ等への地域交流事業に対する助成。

2 臨時的に実施された事業への助成

- (1) 自主防災の緊急避難所新設事業に対する助成。
- (2) 環境推進会の単位環境全会員への世帯還元事業に対する助成。



II 決算報告

(収入の部)

科目	予算額	決算額	備考
前年度繰越金	1,647,525	1,647,525	
環境・コミュニティ事業推進交付金	2,150,000	2,315,000	市から竜川地区環境推進連合会を経由して年4回
諸収入	475	113,752	預金利息、竜川踊り連より
合計	3,798,000	4,076,277	

(支出の部)

科目	予算額	決算額	備考
事業費	2,950,000	2,584,000	
市社会福祉協議会会費	700,000	672,000	500円×1, 344世帯
環境・コミュニティ事業推進交付金の返還金	700,000	672,000	環境推進連合会へ還元
竜川公民館まつり	200,000	0	一部形式変更して開催
竜川教育振興会	450,000	450,000	助成金（小学校：30万円、幼稚園：10万円、保育所：5万円）
竜川地区自主防災会	100,000	100,000	避難訓練等への助成金
竜川地区自主防災会（不定期）	500,000	500,000	公認追加避難所に伴う助成金
竜川青色パトロール隊	100,000	100,000	助成金
地域自主事業	200,000	90,000	地域交流事業（幼稚園：2万円、保育所：2万円、しかしかキッズ：5万円）
事務費	115,000	107,944	
会議費	10,000	7,656	会議用お茶代
備品・消耗品費	85,000	85,419	プリンター買替代外
通信運搬費	10,000	9,686	はがき代等
雑費	10,000	5,183	その他
報奨費	30,000	10,000	全国大会出場 報償費等
予備費	703,000	0	
合計	3,798,000	2,701,944	

※ 決算額の収入から支出を差し引いた 1,374,333円は、次年度へ繰り越します。

令和6年度(上期)竜川地区社会福祉協議会の活動報告について

1 地区社協総会の開催

令和6年5月31日午後7時から、竜川公民館におきまして、6年度竜川地区社会福祉協議会の総会が開催されました。総会には、役員・福祉委員・運営委員108名の内、委任状を含めて96名の方が出席されました。

来賓として、市社会福祉協議会の近藤常務理事と村井事務局長が出席され、来賓祝辞の後、議事に移り、提案された6議案全て承認されました。



議案説明は丁寧に～

2 見守り活動推進委員の研修会



多くの意見が出された情報交換会

令和6年7月18日午後7時から竜川公民館で、見守り活動推進委員会の研修会が開催されました。

最初に、「見守り活動推進ネットワーク」について、市社会福祉協議会地域福祉係の平井彩菜様から、見守り活動の必要性や市内の活動状況等について、講演がありました。

その後、各グループに分かれて、民生児童委員と情報交換会を行い、今後の見守り活動方針を決定しました。



3 竜川地区安全安心パトロール隊の講習会



大勢が参加した
青色パトロール実施者講習会

令和6年6月13日午後7時から、竜川公民館2階会議室において、竜川安全安心パトロール隊の「令和6年度青色パトロール実施者講習会」が開催されました。

青パト乗務には必須の講習で、初めに、丸亀警察署生活安全課の松本係長から、県下の犯罪情勢についての説明や青色防犯パトロールとは、また実施に当たっての心構え、パトロール実施中の様々な事案に対する対処方針、及び実施に当たっての留意点についての説明があり、その後、DVDを視聴しての研修を受けました。

今回、更新講習者50名、新規講習者15名が参加。後日、香川県警察本部長より実施者証が交付されました。

4 盛大に開催された「ふれあい夏祭り」



辻村市長も夏祭りに参加

令和6年8月17日(土)午後1時半から“千手苑・まどか”に於いて、「ふれあい夏祭り」が開催されました。夏祭りは、介護福祉施設の慰問とキッズクラブと高齢者の三世代交流会を目的に毎年開催されており、今年は高齢者やチビッコ達合わせて約200人が参加。

参加された皆さんは、バンド演奏に耳を傾けたり、子ども神輿やダンスに声援を送ったり、参加者による総踊りの炭坑節や東京音頭を一緒に踊ったり、大いに楽しみました。

この他、子ども縁日広場、バザーコーナー等も開催され、お祭り会場は、大変賑わいました。



見る人も思わず手が動いた総踊り



あなたの町の民生委員・児童委員を紹介します



民生委員・児童委員は、社会奉仕の精神をもって、常に住民の立場にたって、相談や援助を行い、社会福祉の増進に努めることを任務としております。あなたの町の民生委員は次の方々です。よろしくお願いいたします。



金蔵寺地区
六条
大平 洋子



金蔵寺地区
西部、東部、西本町
真鍋 博行



金蔵寺地区
下所、中央、カシヤブ
宮下 義明



原田地区
土居
高木 冷子



原田地区
四条、五条
平尾 礼子



原田地区
宮
塩田 薫



木徳地区
北部
四宮 隆幸



木徳地区
東上代、西上代、室の辻
神原 眞里子



主任児童委員
全地区
大塚 京子



主任児童委員
全地区
谷畑 雅掄



社会福祉協議会会費のお願い

社会福祉協議会は、住民の福祉の増進を図るため、「誰もが支えあい、その人らしく安心して暮らせる あたたかいまちづくり」を目指して、活動する組織で、住民が主体となって福祉活動を行うことを基本としております。皆さんに会員になっていただき、会費を納めて福祉の活動へのご参加をよろしくお願いいたします。

- 一般会員会費 … 1口 500円 全世帯にお願いするもので、自治会を通じて納めていただいております。
- 賛助会員会費 … 1口 1,000円 一般会員会費とは別にご賛同いただける方が対象です。民生委員・児童委員がお世話しております。
- 特別会員会費 … 1口 5,000円 一般会員会費とは別にご賛同いただける方が対象です。民生委員・児童委員、地区社協役員がお世話しております。

編集後記

この夏は、列島が猛烈な暑さに見舞われました。また、のろのろ台風や線状降水帯の発生により、全国各地で風水害や土砂災害が頻発し、多くの被害をだしました。明らかに地球がおかしくなっています。地球温暖化対策は待たなしです。ひとり一人ができることから始めましょう。

さて、我が善通寺市も一時的ではあるものの、ついに人口が3万人を切るなど、人口減少に歯止めがかかりません。また、少子化も進んでおり、市教育委員会では学校の統廃合について議論されています。善通寺市は過去の町村合併の経緯から各小学校区に自治会や社会福祉協議会を中心とした地域コミュニティが存在します。学校の統廃合は、今でも弱体化している地域コミュニティの崩壊を助長し、住民の分断に繋がりがねません。「誰もが支えあい、その人らしく安心して暮らせる あたたかいまちづくり」を目指す私たち竜川地区社会福祉協議会にとっても重要な事項です。今後の議論を注視したいと思っています。

竜川地区社会福祉協議会広報紙「たつかわ」編集委員 横山 孝信・大西 智晴